

令和元年度 東成区民アンケート報告書



ご協力いただいた方
ありがとうございました！

令和元年12月実施
大阪市東成区役所

I アンケートの概要

1) 調査の目的

東成区の事業や取組みについて、区民の皆さんから広くご意見や評価をいただくことで、様々なニーズを把握し、今後の東成区政に反映していくための貴重な情報として活用することを目的として、アンケートを実施しました。

2) 調査のテーマ

令和元年度区民アンケートのテーマは次のとおりです。

■防災 ■防犯・交通安全 ■地域福祉 ■在宅医療・在宅介護
■健康づくり ■SDGs ■広報

3) 調査の実施状況

調査期間 : 令和元年12月2日～12月16日

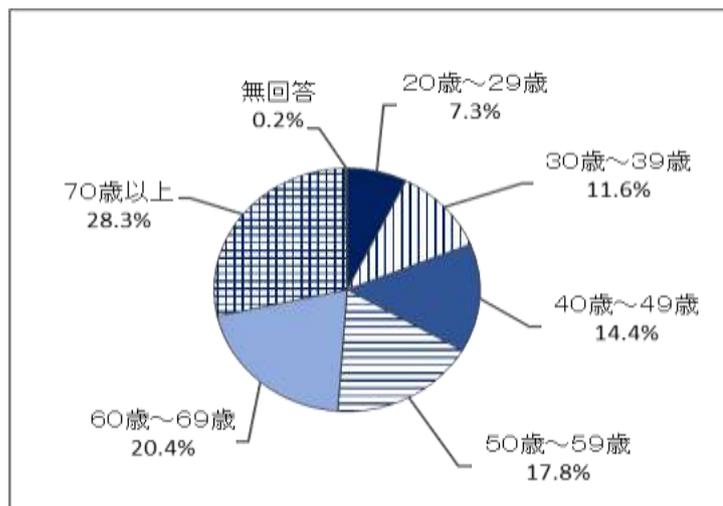
方 法 : 郵送

対 象 : 住民基本台帳から無作為抽出した区民1,500名

回答者数 : 534名 (35.6%)

4) 回答者属性

	全体	534
年 齢 別	20～29歳	39
	30～39歳	62
	40～49歳	77
	50～59歳	95
	60～69歳	109
	70歳以上	151
	無回答	1



※アンケート結果については、小数点第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。

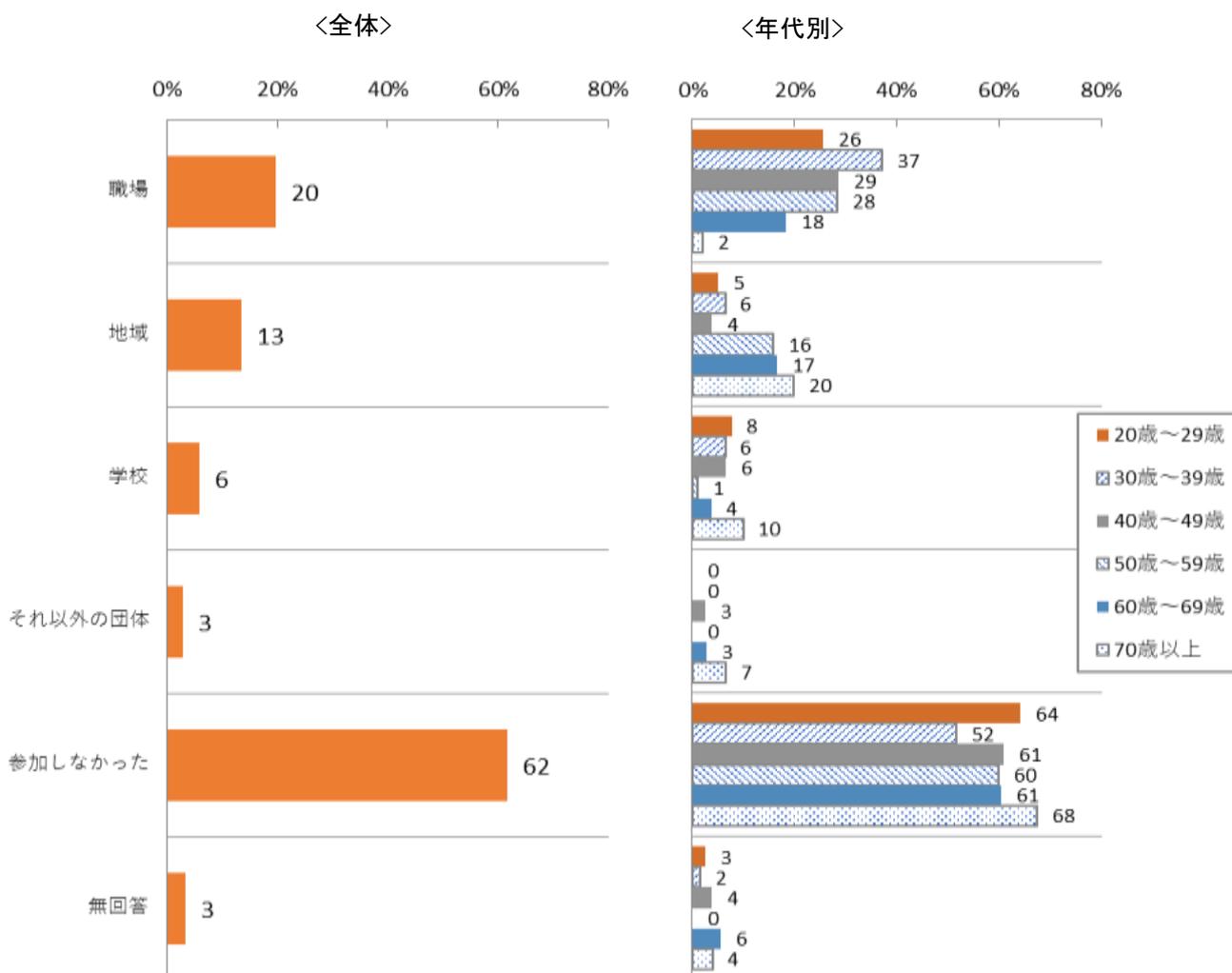
Ⅱ アンケート結果

◆◆◆◆【防災について】◆◆◆◆

平成30年6月に発生した大阪府北部地震や、令和元年8月の九州北部豪雨など、近年大規模な自然災害が発生しています。また、近い将来、南海トラフを震源とする巨大地震が発生すると言われています。こうしたことから、今まで以上に災害に対する備えが必要となっています。

- 問1 防災訓練や避難訓練は地域のさまざまな場所で実施されています。
あなたは過去1年間に、次のどこかで実施した防災訓練・避難訓練・防災の催しに参加しましたか？
【3つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 職場	105	20
2 地域	72	13
3 学校	32	6
4 それ以外の団体	15	3
5 参加しなかった	329	62
無回答	18	3
回答者数		534



●20歳代から60歳代は職場、70歳代は地域での訓練参加が多い

- ・職場(20%)、地域(13%)が最も高く、学校(6%)と続きますが、いずれも参加していない方は62%となっています。
- ・年代別に見ると、20歳代から50歳代は職場での訓練参加割合が高く、60歳代・70歳代は地域での訓練参加割合が高い傾向があることが分かりました。

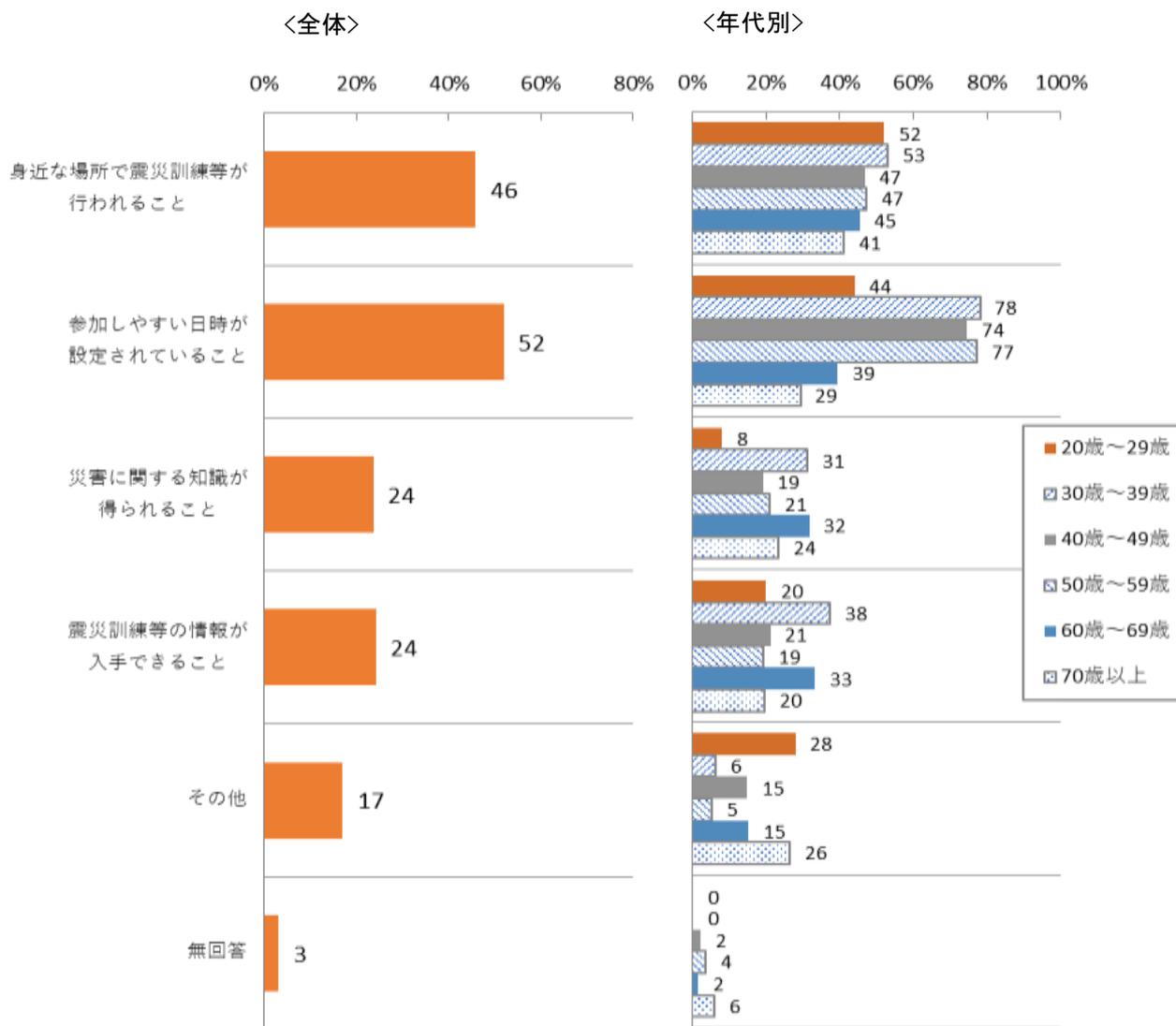
◆◆◆◆【防災について】◆◆◆◆

問2 問1で「5 参加しなかった」と回答した方にお聞きします。あなたは、どのような条件が整えば参加されますか？
【3つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 身近な場所で震災訓練等が行われること	151	46
2 参加しやすい日時が設定されていること	171	52
3 災害に関する知識が得られること	78	24
4 震災訓練等の情報が入手できること	80	24
5 その他	56	17
無回答	10	3
回答者数	329	

●その他の主な意見

- ・体が不自由なため
- ・都合が合わなかった
- ・忙しい



●「身近な場所」および「参加しやすい日時」が設定されていることが、共に約5割を占める

・「参加しやすい日時が設定されていること」(52%)が最も高く、「身近な場所で震災訓練等が行われること」(46%)も高い割合を占めています。

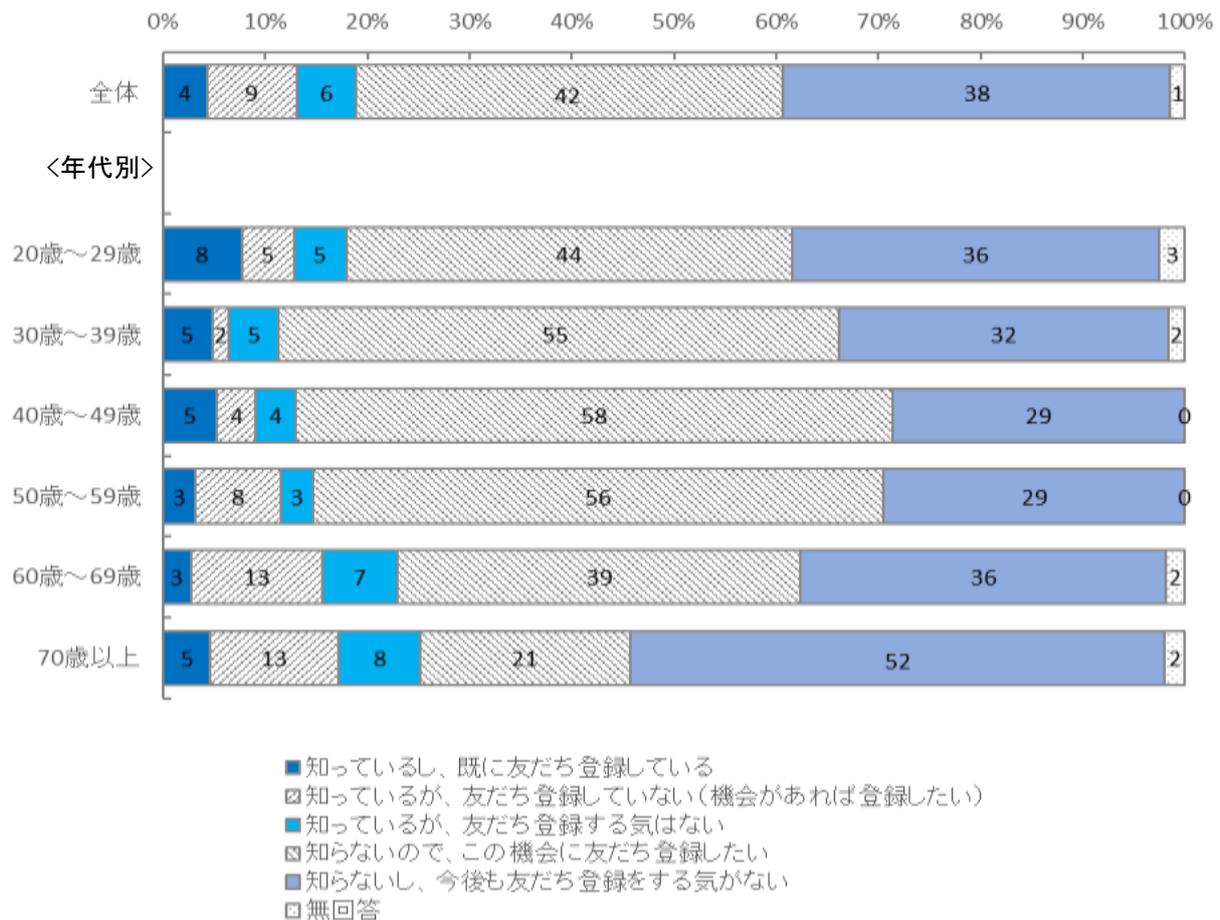
・地域の自主防災組織が実施する震災訓練は、休日の午前中に各小学校で実施されている現状を踏まえ、訓練参加者を増やすべく、訓練の実施日時等を広報媒体を通じ、広く周知するよう取り組みます。

◆◆◆◆【防災について】◆◆◆◆

災害時において、正確かつ迅速な情報伝達・提供を行うことは行政に課せられた重要な任務のひとつです。東成区役所では、ツイッターに加え、平成30年12月28日からLINE@（アカウント名：ひがしなり防災情報）を活用し、平時は月1・2回程度、災害時には避難所開設情報などの防災に関する情報を発信しています。

問3 あなたは、東成区役所がLINE@を活用し、防災情報を発信していることを知っていますか？

項目	回答数	比率(%)
1 知っているし、既に友だち登録している	23	4
2 知っているが、友だち登録していない(機会があれば登録したい)	47	9
3 知っているが、友だち登録する気はない	31	6
4 知らないのに、この機会に友だち登録したい	223	42
5 知らないし、今後も友だち登録をする気はない	202	38
無回答	8	1
回答者数	534	



●「ひがしなり防災情報(LINE)」の潜在的な登録者(登録希望者含む)は5割を超える

・「知っているし、既に登録している」は4%ですが、「機会があれば登録したい」が9%および「知らないのに、この機会に友だち登録したい」が42%と潜在的な登録者は51%となっています。

・30歳代から50歳代の「知らないのに、この機会に友だち登録したい」方の割合は55～58%と高くなっています。防災講演会や安全安心ミニフェスタ等のイベントを通じて、利用者登録の増加を図ります。

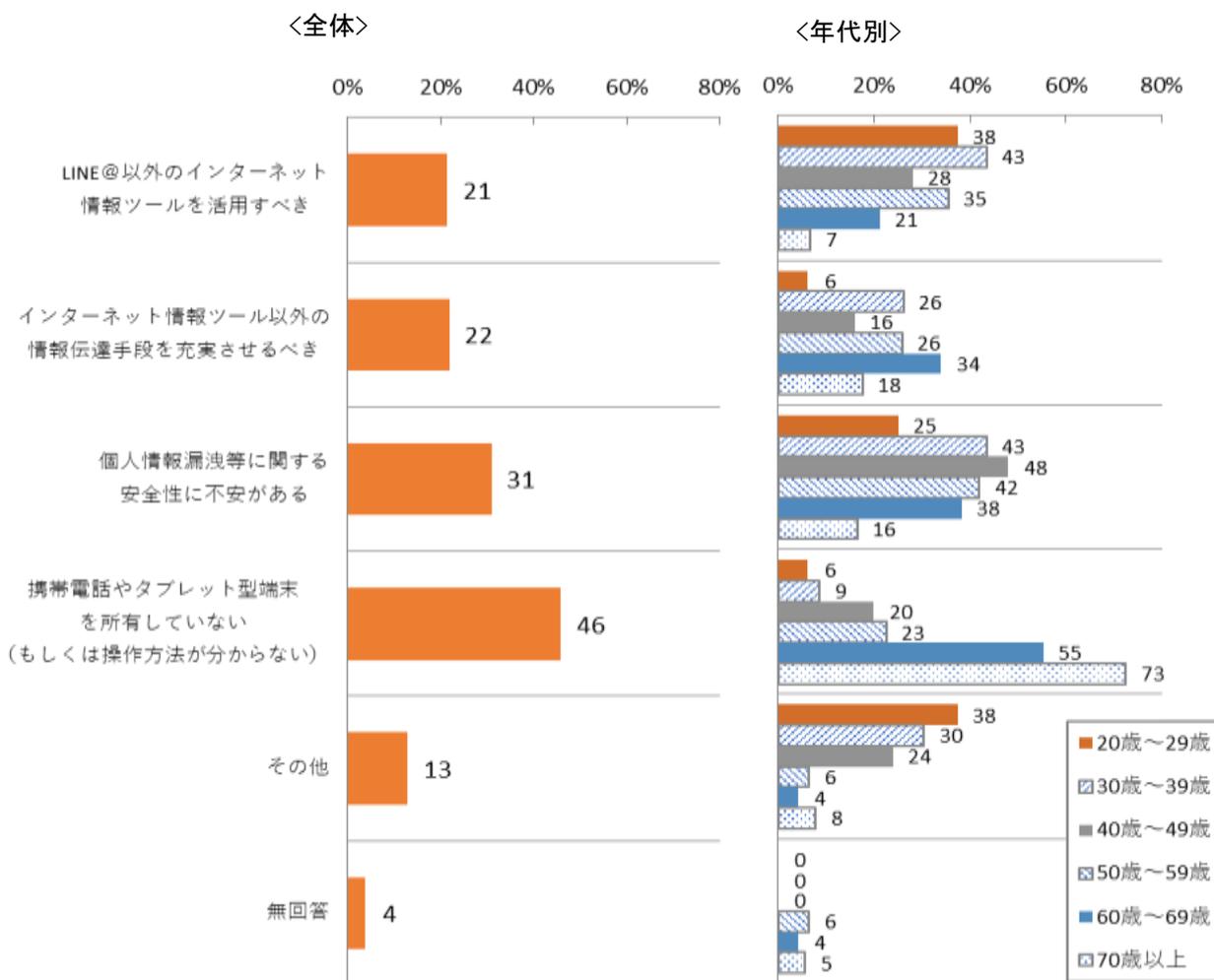
◆◆◆◆【防災について】◆◆◆◆

問4 問3で「3 知っているが、友だち登録する気はない」および「5 知らないし、後も友だち登録をする気がない」と回答した方にお聞きます。

あなたが、登録をする気にならない理由は何ですか？【3つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 LINE@以外のインターネット情報ツールを活用すべき	50	21
2 インターネット情報ツール以外の情報伝達手段を充実させるべき	51	22
3 個人情報漏洩等に関する安全性に不安がある	72	31
4 携帯電話やタブレット型端末を所有していない(もしくは操作方法が分からない)	107	46
5 その他	30	13
無回答	9	4
回答者数	233	

- その他の主な意見
- ・ 必要ない
 - ・ LINEをしない
 - ・ 通知が増えるのが嫌



● 携帯電話やタブレット型端末を所有していない(もしくは操作方法が分からない)などが約5割

- ・ 「携帯電話やタブレット型端末を所有していない(もしくは操作方法が分からない)」が46%と最も高く、「インターネット情報ツール以外の情報伝達手段を充実させるべき」も22%あります。
- ・ LINEを含めSNSは情報発信手段のひとつであり、平時・災害時に関わらず、各種手段を通じて防災情報を発信していきます。また、「共助」の観点から、隣り近所で情報を補完し合うことも必要です。

◆◆◆◆【防犯・交通安全について】◆◆◆◆

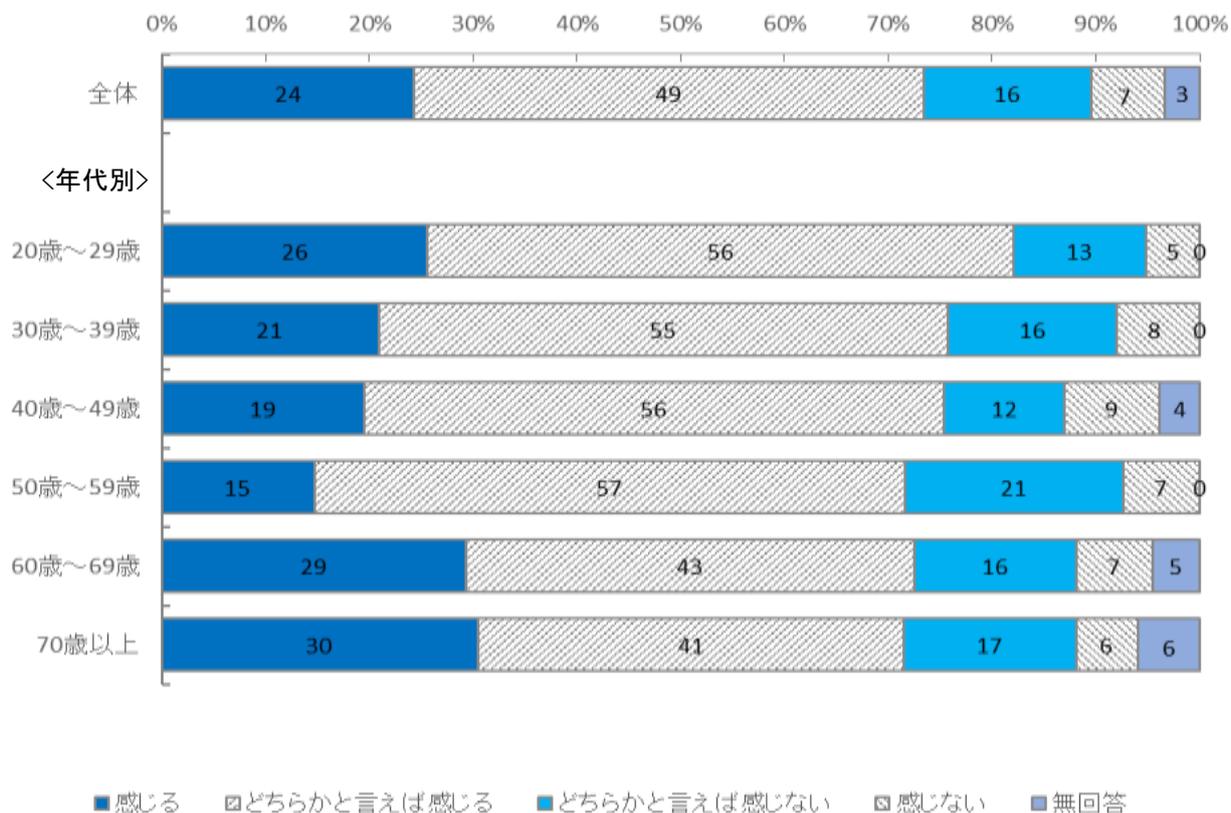
東成区では、防犯意識を高め、地域の自主防犯活動の促進を図るとともに、警察などの関係機関と連携し、犯罪抑止のための効果的な防犯対策に取り組んでいます。
また、安全で安心な通行環境整備のため、地域や関係機関と連携し、様々な取り組みを行っています。

<区役所や町会・地域団体の取り組み>

- ・あんパトチームによる校外授業時での引率、見守り ・青色防犯パトロールカーによる地域巡回
 - ・子ども向け防犯教室(保育所(園)、幼稚園、小学校)
 - ・区民まつりや安全安心ミニフェスタ等での防犯啓発
 - ・防犯カメラの設置 ・子ども見守り隊 ・こども110番の家 など
- ※あんパトチーム:東成区役所市民協働課に在籍する地域安全担当職員

問5 東成区では、区役所、警察、建設局、地域団体が連携して、次のような様々な防犯活動に取り組んでいます。これらふまえ、安全で安心なまちづくりが進んでいると感じますか？

項目	回答数	比率(%)
1 感じる	130	24
2 どちらかと言えば感じる	262	49
3 どちらかと言えば感じない	86	16
4 感じない	38	7
無回答	18	3
回答者数	534	



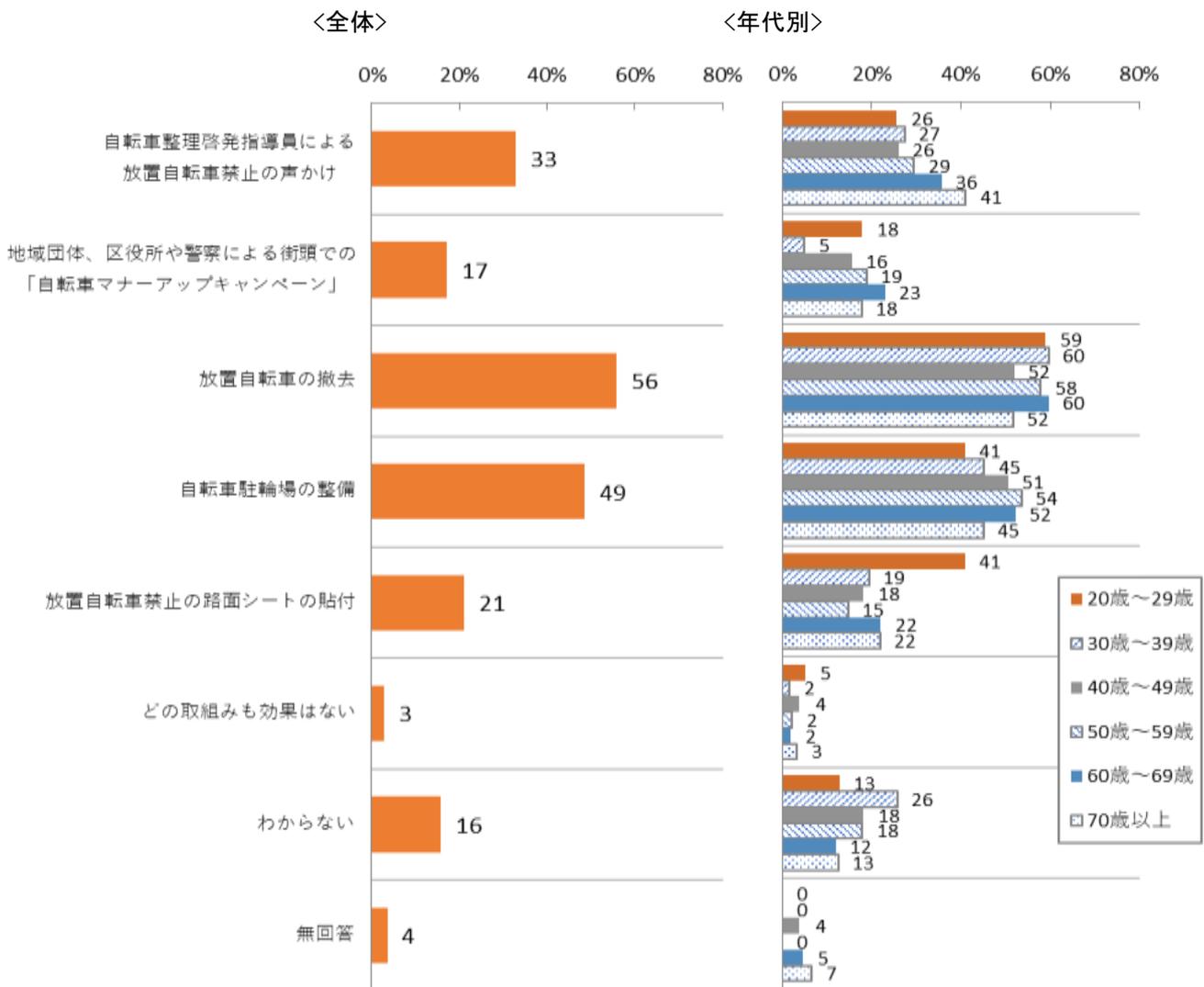
●7割以上の方が安全で安心なまちづくりが進んでいると実感

- ・「感じる」が24%、「どちらかと言えば感じる」が49%となり、あわせて73%の方が、安全で安心なまちづくりが進んでいると回答されました。
- ・年代別で見ると、「感じる」と回答した60歳以上の方の比率がやや高くなっています。これは、区内の防犯活動への認知度や関心度、活動の担い手となる年代とも密接に関係していると考えられます。引き続き関係機関と連携し、幅広い世代への啓発活動を行い、安全で安心なまちづくりを進めます。

◆◆◆◆【防犯・交通安全について】◆◆◆◆

問6 鶴橋駅周辺では、自転車利用者や歩行者にとって、事故のない安全で快適な通行環境を整備するために、様々な活動に取り組んでいます。次の中で特に効果があると考えられる取組みは何ですか？
【3つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 自転車整理啓発指導員による放置自転車禁止の声かけ	176	33
2 地域団体、区役所や警察による街頭での「自転車マナーアップキャンペーン」	92	17
3 放置自転車の撤去	298	56
4 自転車駐輪場の整備	259	49
5 放置自転車禁止の路面シートの貼付	113	21
6 どの取組みも効果はない	15	3
7 わからない	84	16
無回答	19	4
回答者数	534	

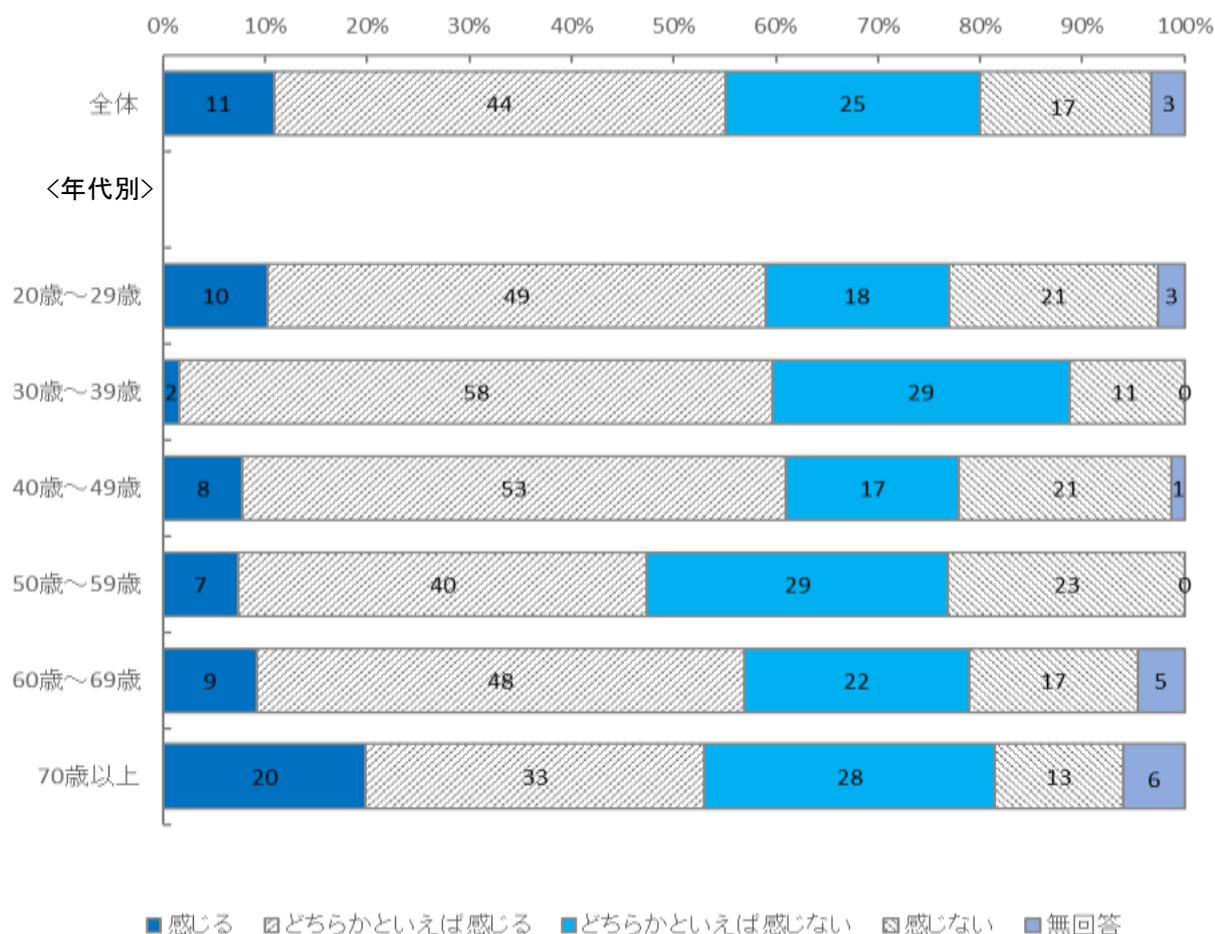


●安全な通行環境の整備に向けて、今後も多様な取組みを並行して進めることが重要
 ・「放置自転車の撤去」が56%、「自転車駐輪場の整備」が49%、「指導員による放置自転車禁止の声かけ」が33%となり、この3項目の効果が高いとの回答でした。
 ・引き続き、地域団体や警察、建設局等の関係機関と連携した多様な施策や啓発活動を行うとともに、より効果的な取組みについても検討を進めていきます。

◆◆◆◆【地域福祉について】◆◆◆◆

問8 問7のように、様々な地域福祉の取組みが行われていますが、その取組みが充実してきていると感じますか？

項目	回答数	比率(%)
1 感じる	58	11
2 どちらかといえば感じる	236	44
3 どちらかといえば感じない	133	25
4 感じない	90	17
無回答	17	3
回答者数	534	



●5割以上の方が東成区の地域福祉の取組みが充実してきていると実感

- ・地域福祉の取組みが充実してきていると感じるかについては、「感じる」が11%、「どちらかといえば感じる」が44%となっており、55%の方から肯定的な回答をいただきました。
- ・年代別に見ると、特に30・40代の方については、これらの回答が60%以上に達しています。
- ・各年代への効果的な周知方法を検討し、地域福祉活動の支援や取り組みの充実に努めます。

◆◆◆◆【地域福祉について】◆◆◆◆

東成区では、地域における支え合い活動が充実し、区民の皆様が住みなれた地域で安心して生活できるよう、地域の方々と専門機関と連携して地域福祉の取組みを進めています。

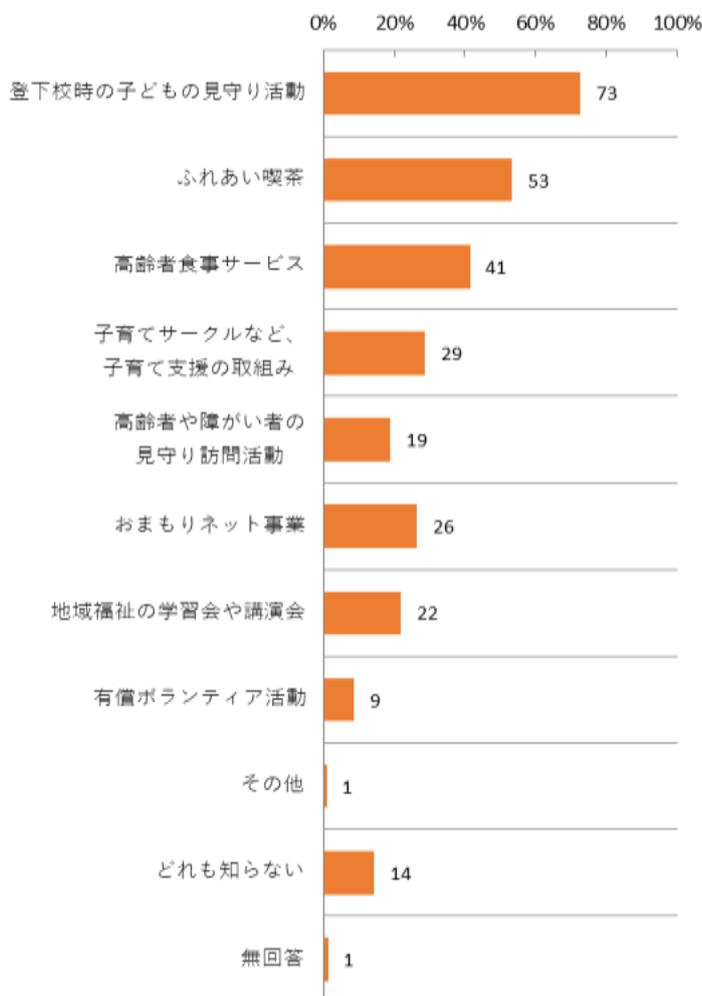
問7 東成区では、様々な地域福祉の取組みを、地域が主体となって行われています。次の中で知っている取組みは何か？【複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 登下校時の子どもの見守り活動	388	73
2 ふれあい喫茶	285	53
3 高齢者食事サービス	221	41
4 子育てサークルなど、子育て支援の取組み	153	29
5 高齢者や障がい者の見守り訪問活動	101	19
6 おまもりネット事業	141	26
7 地域福祉の学習会や講演会	117	22
8 有償ボランティア活動	46	9
9 その他	5	1
10 どれも知らない	77	14
無回答	7	1
回答者数		534

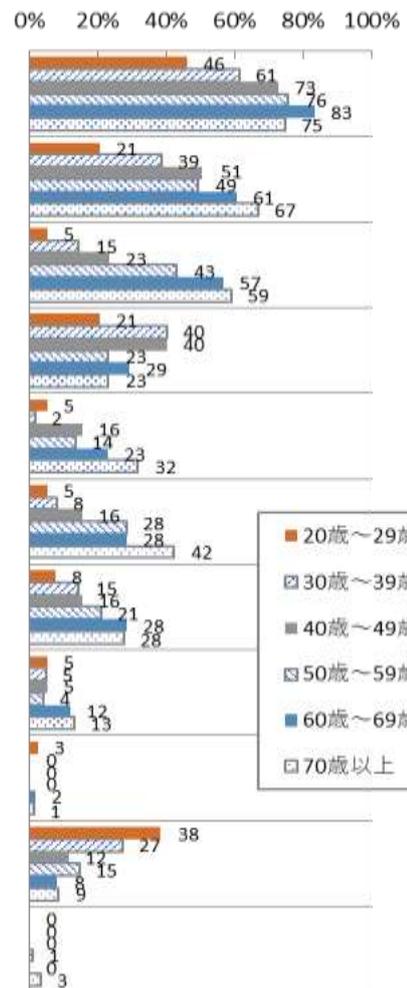
● その他の主な意見

- ・ 車イスの貸出
- ・ 青年会、青少年指導員、青少年福祉員、子ども会による取組み

<全体>



<年代別>



● 地域福祉の取組みでは「登下校時の子どもの見守り活動」「ふれあい喫茶」がよく知られている

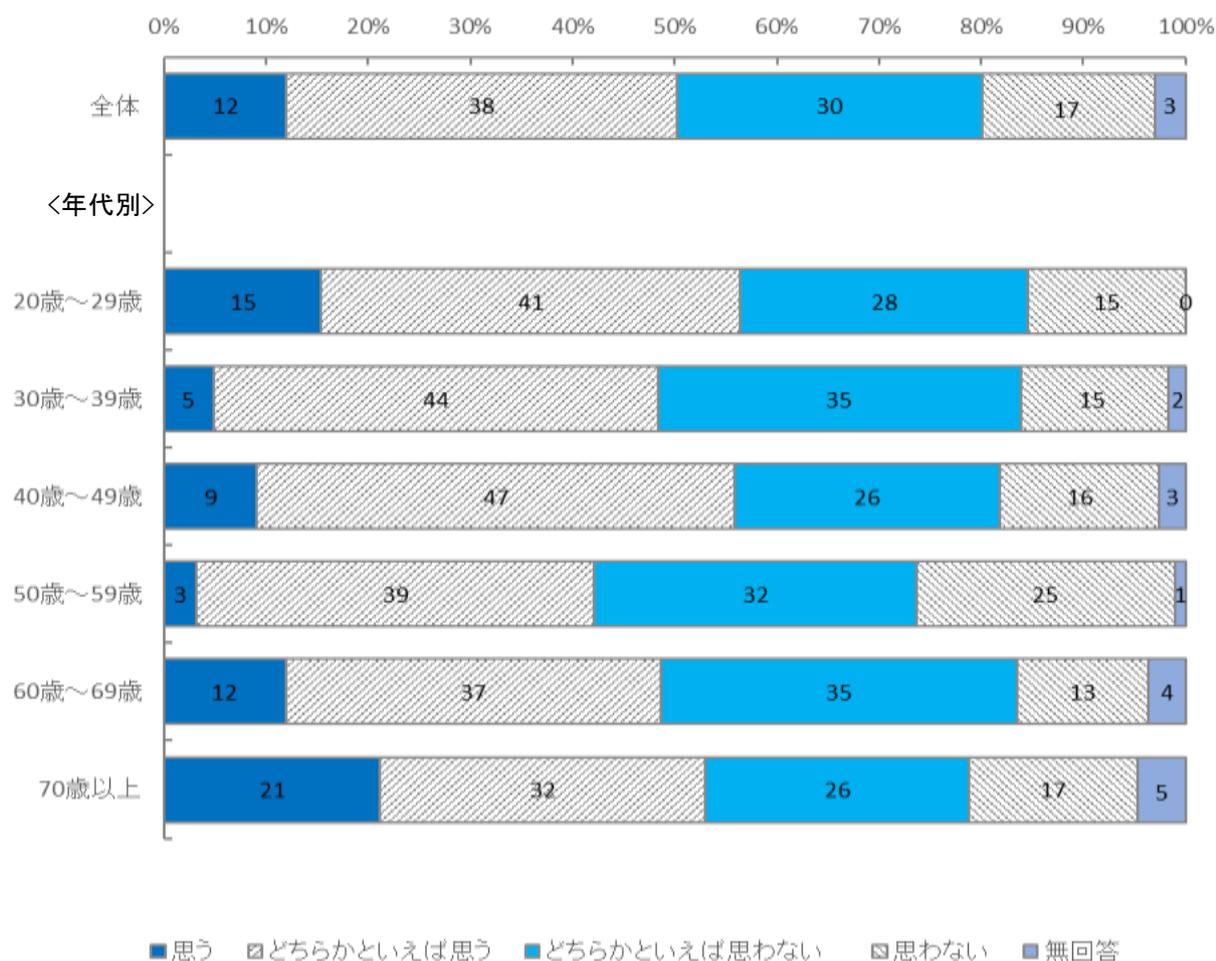
・ 地域福祉の取組みについては、「登下校時の子供の見守り活動」が73%で最も知られており、「ふれあい喫茶」が53%、「高齢者食事サービス」が41%、「子育てサークルなど、子育て支援の取組み」が29%と続きます。

・ 認知度が低い取組みについても、区広報紙やホームページを活用し周知を行い、様々な地域福祉活動をより多くの方に知っていただけるよう努めます。

◆◆◆◆【地域福祉について】◆◆◆◆

問9 各地域でさまざまな方が地域福祉活動に取り組んでおられますが、それらの取組みの中で「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」が行われていると思いますか？

項目		回答数	比率(%)
1	思う	64	12
2	どちらかといえば思う	204	38
3	どちらかといえば思わない	160	30
4	思わない	90	17
	無回答	16	3
回答者数		534	



●5割の方が「声掛け」「見守り」等の取組みが行われていると感じている

・「声掛け」「見守り」等が行われていると「思う」が12%、「どちらかといえば思う」が38%となっており、50%の方が、これらの取組みが行われていると感じています。

・このような取組みが広がり、より多くの方が地域のつながりを実感できるよう、今後も地域福祉活動の活性化を支援するとともに、地域の方々と共に活動の周知に努めていきます。

◆◆◆◆【地域福祉について】◆◆◆◆

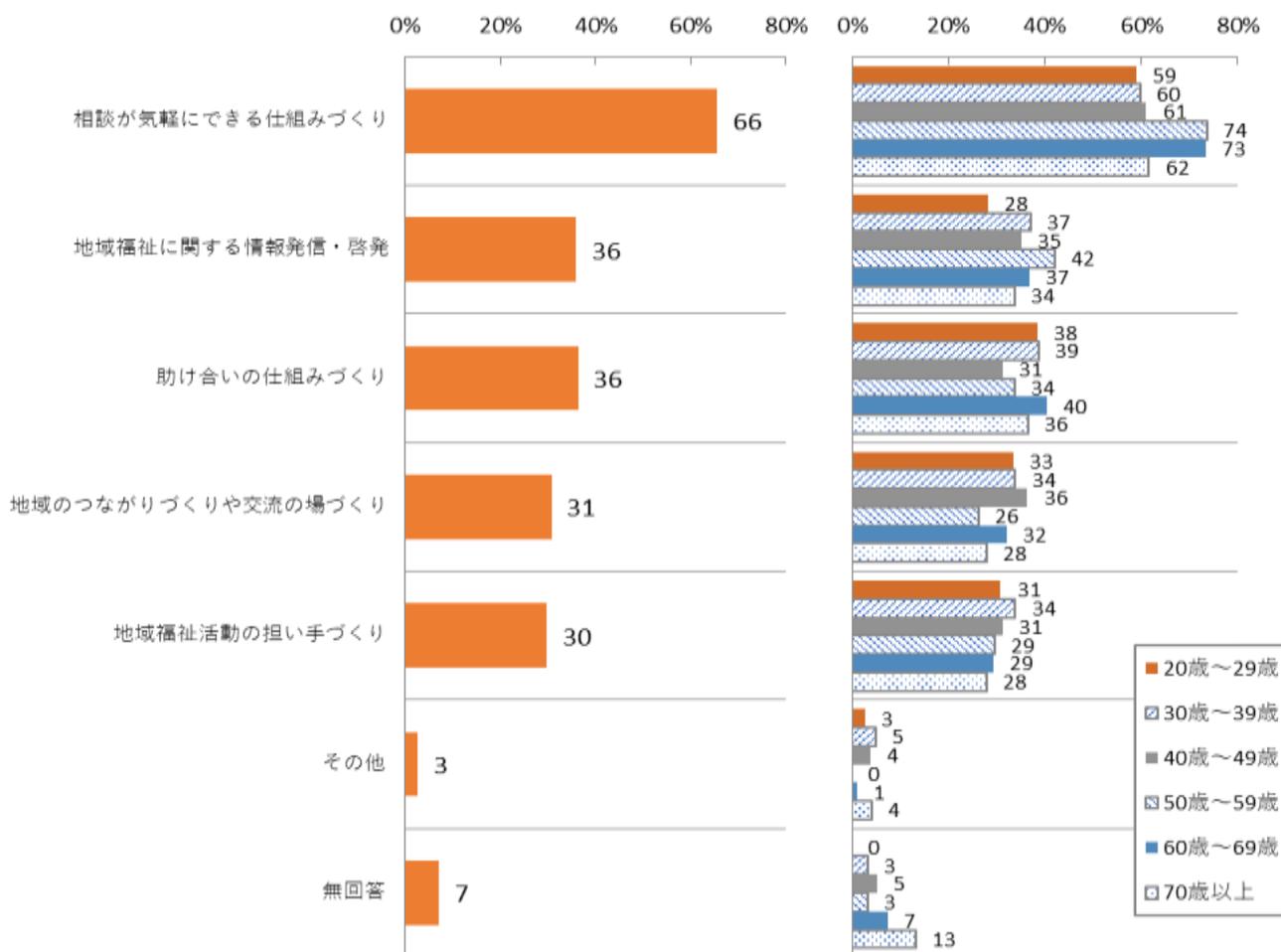
問10 今後、地域福祉をより充実させるためには、主にどのような取組みが必要だと思いますか？
【3つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 相談が気軽にできる仕組みづくり	350	66
2 地域福祉に関する情報発信・啓発	192	36
3 助け合いの仕組みづくり	194	36
4 地域のつながりづくりや交流の場づくり	164	31
5 地域福祉活動の担い手づくり	159	30
6 その他	14	3
無回答	38	7
回答者数	534	

●その他の主な意見
・わからない
・個別訪問

<全体>

<年代別>



●「相談が気軽にできる仕組みづくり」が6割以上となっており最も必要と思われる

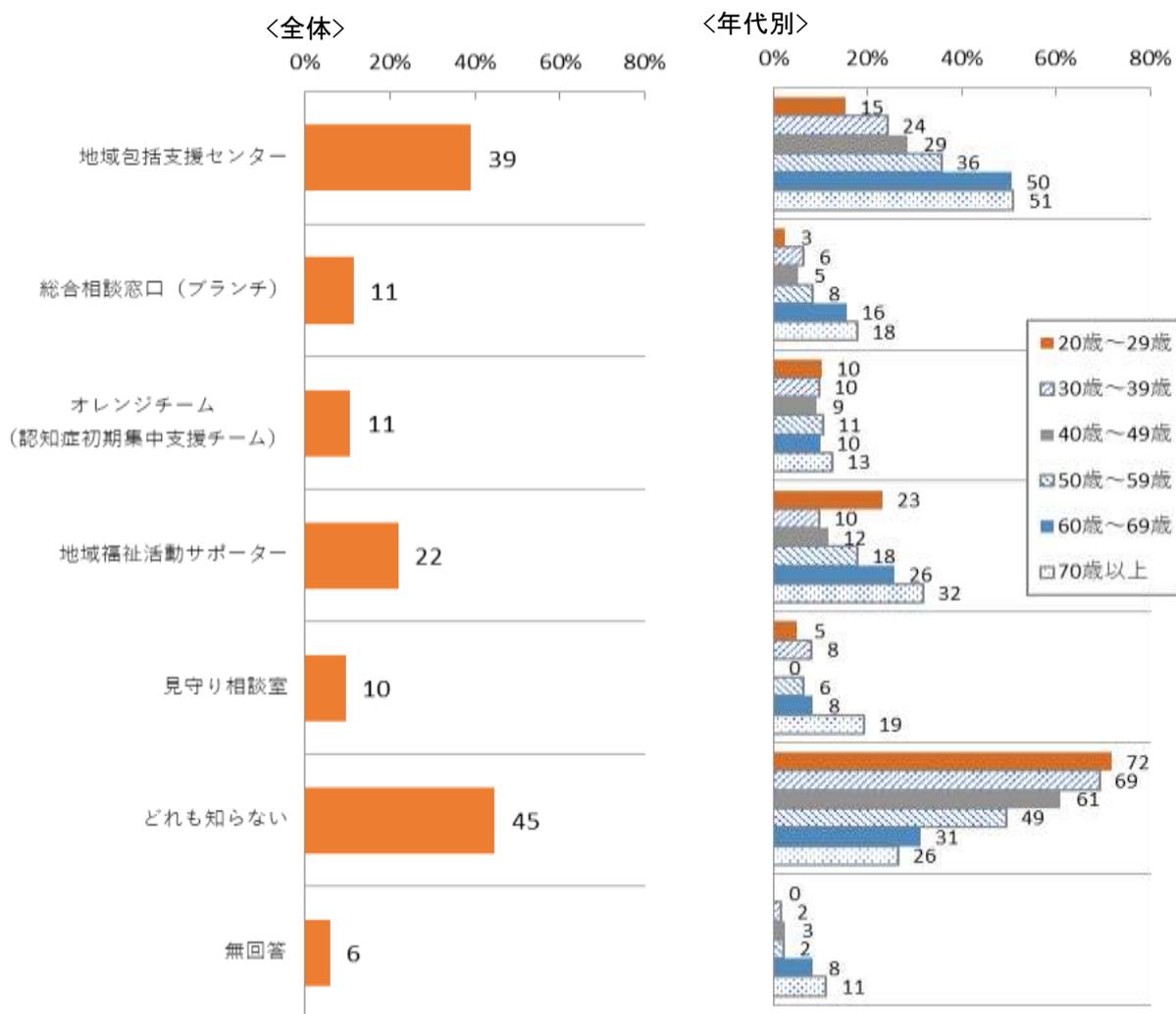
・「相談が気軽にできる仕組みづくり」が66%と最も多く、「地域福祉に関する情報発信・啓発」及び「助け合いの仕組みづくり」が36%と次に続いています。

・今後も関係機関等と連携し、住民の方が身近なところで福祉に関する相談ができる体制を推進するとともに、区広報紙やホームページ等を活用し、地域福祉活動の情報発信を行っていきます。

◆◆◆◆【地域福祉について】◆◆◆◆

問11 東成区には、高齢者の方の支援や、地域福祉活動の推進などを行う、様々な相談窓口があります。次のうち、知っているものはありますか？【複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 地域包括支援センター：高齢者のくらしや介護の相談窓口	209	39
2 総合相談窓口(ランチ)：高齢者のくらしや介護の相談窓口	61	11
3 オレンジチーム(認知症初期集中支援チーム)：認知症が気になる(お困りの方)の相談窓口	57	11
4 地域福祉活動サポーター：身の回りの困りごと相談や、ふれあい喫茶等集いの場づくりの推進員	117	22
5 見守り相談室：日頃からの見守り活動や、住民どうしのつながりづくりの相談室	51	10
6 どれも知らない	239	45
無回答	32	6
回答者数	534	



●「地域包括支援センター」が地域の相談窓口として最も知られている

・地域において様々な福祉に関する相談窓口がある中、高齢者の相談窓口「地域包括支援センター」の認知度が39%と最も高くなっています。また、それに続いて東成区が独自に配置する福祉相談員「地域福祉活動サポーター」(22%)が高くなっています。

・一方で、「どれも知らない」割合が45%となっていることから、今後も広報紙やホームページ、また、各種リーフレット等を活用し、各相談窓口の周知を図っていきます。